

防災ニュース藤原(5号)

発行日 2020. 3. 20
発行者 藤原町内会広報部
発行責任 藤原自主防災組織組織会長 高橋正幸

防災ニュース藤原(5号)では、「防災への備え」を1例として政府提案をご紹介します。
ご家庭での準備の参考にしてください。

1. 「防災への備え」 出典；www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html

災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しよう！ 家庭で取り組むべき主な対策



家具の置き方

- ①家具は壁に固定
- ②寝室や子ども部屋に、できるだけ家具を置かない、又は低い家具
- ③倒れた時に出入り口をふさがない家具の向きや配置を工夫



食料・飲料・生活必需品などの備蓄（人数分用意）

- ①飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）、②非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセットコンロ など
- ③大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましい
- ④日頃、水道水をポリタンクで用意、風呂水を張っておきトイレ他用。



非常用持ち出しバッグの内容例（人数分用意）

- ① 飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
 - ② 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
 - ③ 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
 - ④ ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器
 - ⑤ 衣類、下着、毛布、タオル（※乳児；ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなど）
 - ⑥洗面用具、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、携帯トイレ
- 手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備える



安否確認方法

①災害用伝言ダイヤル：局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

※一般加入電話や公衆電話、携帯電話・PHS、一部のIP電話から利用できます。

②災害用伝言板：

携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます



避難場所や避難経路の確認

災害時にあわてずに避難するため、予め岡山市のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。



もしもの時の情報収集

電話やインターネットができなくなったり遅い場合は、スマートフォンや携帯電話のワンセグ機能でテレビ放送を見ることでも情報収集が可能。
ぜひ予めワンセグが受信可能かチェックしてください。

2. 「災害時の被害低減」

- 1) 地震時の被害低減 ; ①ガラス飛散防止フィルム
②食器棚の扉ストッパー
③棚の転倒防止棒、チェーンやネジで壁や床への固定
- 2) 水害時の被害低減 : ①高い位置へ避難（2階以上）
②河川、用水の近くに行かない

次回は、あると便利な「防災備品のいろいろ」を紹介します。